取扱説明書　NS-5011BOX

フルハイビジョン街頭防犯システム

目次

1. はじめに ---------------- 3

2. 各部名称 ---------------- 4
2-1. 機器名称 ---------------- 4-5
2-2. リモコン名称 ---------------- 6

3. ログイン ---------------- 7

4. 表示画面 ---------------- 7
4-1 通常画面 ---------------- 7
4-2 メニュー画面 ---------------- 8
4-3 録画操作 ---------------- 9
4-4 再生操作 ---------------- 9
4-5 バックアップ操作 ---------------- 10
4-6 ログ操作 ---------------- 11
4-7 記録媒体の取り外し ---------------- 11-12

5. 各種設定 ---------------- 13
5-1 画面設定 ---------------- 13
5-2 カメラ ---------------- 14
5-3 録画 ---------------- 15-16
5-4 イベント ---------------- 16-17
5-5 デバイス管理 ---------------- 17-18
5-6 ネットワーク ---------------- 19
5-7 システム ---------------- 19-21
5-8 終了 ---------------- 21

1. はじめに

この取扱説明書（以下、本取扱説明書）は、ＤＶＲ（以下、録画装置）の扱いに関する方法などを説明いたします。機器構成や設置・運用、再生ソフトウェアに関する説明は、別添の取扱説明書を参照願います。

機器の特徴

●屋外設置可能な防滴・防塵型 1ＣＨフルハイビジョンHD-SDI レコーダーです。
接続カメラに、フルハイビジョン 360°ビュワーカメラ　ＮＳ-ＨＤW360ＲＭＰＸを使用することで、360°の撮影録画記録が可能となり、理想的な街頭防犯システムとしてご活用頂けます。

●アナログカメラの録画も可能な Hybrid レコーダー
HD-SDI 入力の他にコンポジットビデオ入力端子付で、アナログカメラの 1CH DVR としてもご使用頂けます。

●記録媒体（SD カード /USB-HDD) を取り外して PC で再生可能（ＮＳ-ＨＤ5011ＢＯＸ）
全録画データが記録された SD カードまたは USB-HDD を現場から持ち帰って再生チェックができます。またＮＳ-ＨＤ5011ＢＯＸＷｉＦｉは、ＰＣからＷｉＦｉ通信によってＨＤＤの記録データのバックアップ（コピー）が可能です

●フルハイビジョン解像度（1920×1080）のモニタリング、記録を実現
フルハイビジョン解像度（1920×1080）の HDMI 出力によって、中型以上の液晶モニターや市販の大型ハイビジョンテレビに接続しても鮮明な映像でモニタリング、再生が行えます。

●機器異常表示
ボックス下部のＬＥＤが機器異常（ＳＤカード、ＨＤＤ 異常、カメラのビデオロス、電源不具合、など）によるシステムのトラブルによる録画停止状態を表示します。

●万全な記録媒体のセキュリティ管理
録画装置本体での再生パスワード管理の他、取り外した記録済みＳＤカード, ＵＳＢ-ＨＤＤ からの再生についてもパスワードが必要となりますので部外者からのセキュリティー管理は万全です。

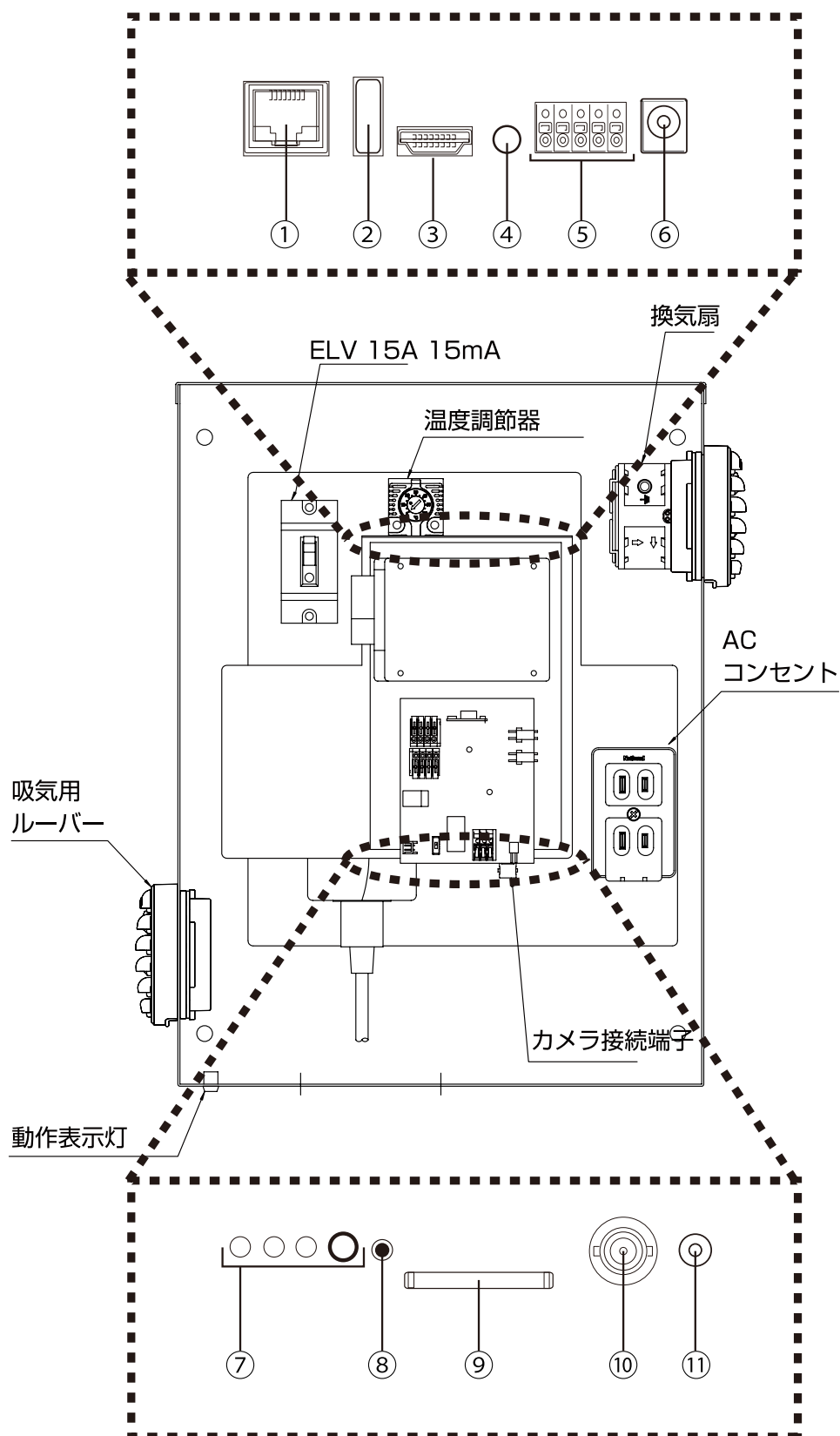
●ネットワーク機能
インターネットに接続することで遠隔地の PC, さらに iPhone,Android などのスマートフォンからもライブ映像のモニタリング、PTZ カメラの遠隔制御、ズーム、さらに過去の録画データのサーチ再生が行えます。（DynamicDNS 対応）

●さまざまな録画及び再生モード
各種録画条件の設定の他、スケジュール録画、モーション録画、アラーム録画 / 連続録画との併用録画も可能です。（プレレコード設定でモーション録画、アラーム録画はイベント発生の数秒前から記録ができます。）

●自動バックアップ録画機能
記録媒体に SD カードと USB-HDD を併用することで、ＳＤカードがフルになった場合、古い録画録画ファイルから順次ＵＳＢ-ＨＤＤに自動書き込みを行います。

2. 各部名称

2-1　BOX 内名称

BOX 内の基板には、上部、下部にそれぞれ接続端子が設置されています。下図を参照して接続を行ってください。

①電源プラグ ▬ ▬ ▬ ▬ ▬ ▬ ▬ 録画機用の AC アダプターが接続されます。

②センサー端子 ▬ ▬ ▬ ▬ ▬ ▬ 使用しません。
※機器構成のために接続済となっているため、他の接続はできません。

③音声端子 ▬ ▬ ▬ ▬ ▬ ▬ ▬ ▬ 音声入力 / 出力のための専用アダプタを接続します。

④ HDMI 端子 ▬ ▬ ▬ ▬ ▬ ▬ ▬ 録画装置内の設定画面や映像を確認するために、HDMI ケーブルを接続します。
モニターはフルハイビジョン（1920 × 1080p）対応をご用意ください。
解像度が対応しない場合は映像が表示されません。

⑤ e-SATA 端子▬ ▬ ▬ ▬ ▬ ▬ ▬ e-SATA 接続で認識できる HDD を接続できます。
※オプションによっては最初から接続されているものもあります。

⑥ LAN 端子 ▬ ▬ ▬ ▬ ▬ ▬ ▬ オプション (別売) の WiFi ルータと接続して、外部から録画映像を確認することができます。

⑦状態表示 LED ▬ ▬ ▬ ▬ ▬ ▬ 機器の稼働状態を LED で表示します。
緑：電源の状態を表示します。
赤：録画の状態を表示します。
黄：エラーの状態を表示します。
※もう一つの端子はリモコン受光部です。
この LED の点灯 / 点滅の組み合わせで、モニターがない場所での SD カードの取り外しや、稼働状態のチェックを行います。
外部 LED は正常稼働についてのみ表示していますので、操作については
内部の LED を参照してください。

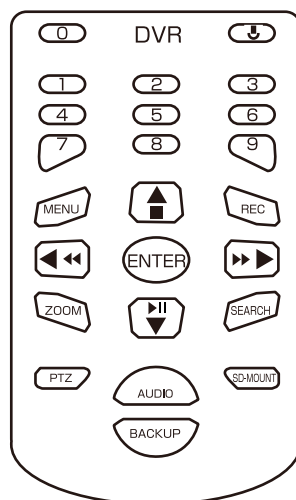
⑧録画ボタン▬ ▬ ▬ ▬ ▬ ▬ ▬ 強制録画を開始します。画面上では「P」というアイコンが表示されます。

⑨ SD カードスロット ▬ ▬ ▬ ▬ SD カードを接続します。
SD カードは、4 〜 128GB まで認識します（2014 年末現在）

⑩映像端子▬ ▬ ▬ ▬ ▬ ▬ ▬ ▬ カメラからの映像線を BNC 端子で接続します。

⑪ビデオ入力端子 ▬ ▬ ▬ ▬ ▬ 通常は使用しません。

2-2　リモコン名称

リモコンは下記のボタンで操作を行ってください。

0 ～ 9：パスワードなどの数字を入力します。

電源：システムを終了し電源を切れる状態にします。

MENU：メニューを表示します。またメニュー画面を閉じます。

REC：録画の ON/OFF を選択します。

ENTER：選択の決定を行います。

ZOOM：ライブ画面中に、デジタルズーム機能を有効にします。
「ZOOM」⇒「ENTER」⇒上下左右で範囲設定⇒
「ENTER」の順に操作して拡大します。「MENU」でライブ画面に戻ります。
※撮影中の絵を拡大だけの機能です。

SEARCH：録画検索画面を表示させます。検索の操作については後述します。

上／下：カーソルを上下に操作します。また、上ボタンは再生中では「停止」を、下ボタンは「再生、一時停止」を行います。

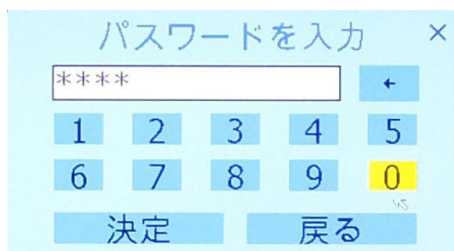
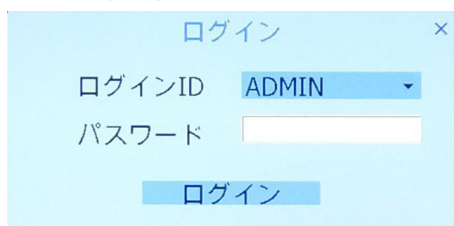
左／右：カーソルを左右に操作します。また、左ボタンは再生中に「巻き戻し」を、右ボタンは「早送り」を行います。

PTZ：PTZ 制御画面を表示します。カーソルが有効になっているので、上下左右ボタンで操作できます。

SD-MOUNT：電源が入っている状態での SD カードの接続 / 取り出しを行う際に使用します。
接続：　SD カードを差し込み、ボタンを押すことで認識を開始します。
取出し：SD カードを取出す時に、録画を停止し認識されない状態にします。

AUDIO：音量設定画面を表示します。

BACKUP：バックアップ操作画面を表示します。操作については後述します。

3. ログイン
録画装置の操作を行うには、ログインが必要になります。ログインは、一定時間操作しない場合やログアウトした場合に再度行う必要があります。

ログインしていない状態（ログアウト時）では、リモコンのキーを押すと､右図の「ログイン画面」が表示されます。この状態では画面切り替えをはじめすべての操作が行えません。
下記の操作を行い、ログインを行ってください。

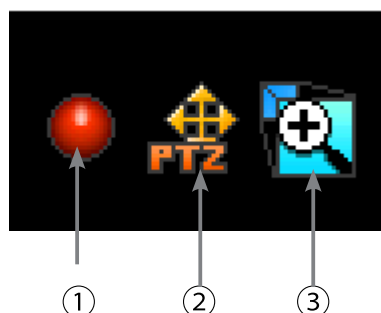
ログイン操作手順
ログイン ID とパスワードを入力します。
ID は「ADMIN」が選択されていますので、そのまま使用します。※権限の変更は可能です。

①「パスワード」の項目の右の枠にカーソルを合わせ、決定を押して数字入力画面を表示させます。

②初期状態では、パスワード：００００（0を4つ）と登録されていますので､リモコンの数字ボタン「0」を４回押します。

③「決定」へカーソルを移動させ､「ENTER」ボタンを押すとログイン画面に戻ります。「ログイン」にカーソルを移動させて､「ENTER」ボタンを押します。
ログイン画面が消えたら完了です。

4. 表示画面
ライブ映像、再生映像、設定画面などが表示されます。

4-1　通常画面

① REC：録画中に点灯します。通常録画の確認は本体の LED を確認してください。

② PTZ：PTZ カメラ制御時に選択します。

③ズーム：ライブ映像など画面を拡大します。マウス接続時に使用できるため、通常は使用しません。

録画容量表示：SD カードの使用容量を表示します。
0%～ 99%表示となります。
※上書き時は 99%表示となります。

4-2　メニュー画面

メニュー設定を行う画面です。各項目へカーソルを移動させて、それぞれの操作を行ってください。

基本設定ー ー ー録画設定やシステム設定など、録画装置内の各種設定を行います。

録画 ー ー ー ー ー強制録画を実行します。スケジュールや動体検知などは無効になります。

音量設定ー ー ー音量の設定を行います。スピーカーなど出力装置を接続して使用します。
※録画機器本体は音声は出ません。

ログ表示ー ー ー操作ログの検索画面を

SD カード ー ー ーSD カードの接続 / 取出しの際に使用します。SD カードの認識を ON/OFF します。
※ SD カードは認識中（録画中）に取り出すとカードの記録域やデータが破損する場合があります。

バックアップー ー録画データのバックアップ画面操作画面を表示させ､外部記録媒体（USB フラッシュメモリーなど）データの一部を移動させます。

映像検索ー ー ー録画データの検索画面を表示させ、録画映像を再生します。

OSD 表示切替 ‥OSD 表示をすべて消します。一時的にカメラ映像のみの表示になりますが、メニュー操作などを行うと表示は戻ります。

ログアウトー ーログアウト状態になり、操作を行う場合はログインパスワードを求められます。
操作時のユーザー権限を変更する場合にも、いったんログアウトが必要です。

終了ー ー ー ー ーシステムを終了します。終了後は、電源プラグを抜くことで完全に機器の動作が終了します。
システム終了後再起動させる場合には、電源プラグの抜き差しが必要となります。

4-3　録画操作

カメラ映像が入力され、記録媒体が接続されている状態で録画を行います。
初期の設定値では連続録画稼働となっていますので、画面上の録画中アイコン（P6　4-1 ①）が表示されている状態であることを確認してください。または、録画ユニット部にある LED で稼働状態を確認してください。
録画設定については 5-3 を参照して、数値を変更します。

4-4　再生操作

録画されたデータを再生します。次の手順で操作を行ってください。

①ログイン
　ログインしてからメニュー画面を表示します。
　（P6　3. ログインを参照してください。

②リモコンの「メニューボタン」を押し、メニュー画面内の「映像検索」を選択して「ENTER」ボタンを押します。

検索画面画面が表示されたら､検索方法を選択します。
〇時間検索　　：時刻を指定して検索再生します。
〇イベント検索：モーション録画、アラーム録画などのイベントによる録画を行っている場合に、イベントリストからの検索と再生を行います。
〇パノラマ　　：録画映像を指定した秒毎の静止画を表示します。映像を確認してから再生が可能です。

③カーソルを「時間検索」へ移動します。（参考例）

④カーソルを、カレンダー表示上の映像のある日付まで移動させます。データのある日付は色が変わっています。｢ENTER ボタン｣で日を選択すると、次に、時、分を選択できます。同様に ｢ENTER ボタン｣ で選択し､最後に ｢OK｣ を選択することで、録画データが再生されます。

4-5　バックアップ操作

録画されたデータを別の記録媒体（USB フラッシュメモリーなど）へ移動させて保存します。
4-3 を参照して録画データを再生し、バックアップするデータ領域を確認してから行います。
バックアップ可能な時間の目安は、1 回につき 1 時間程度を目安としてください。
※録画データの一部分を取り出す機能です。長時間（数日間など）の保存を目的とした機能ではありませんので、 ご注意ください。

①バックアップする時間を決めます
例）2014/10/01　9：00：00 ～
2014/10/01　9：20：30 まで

②ログイン⇒メニュー画面を開き、「バックアップ」を選択します。各入力項目を確認します。

映像：必ず選択してください。
音声：必要に応じて選択してください。
AVI 形式で保存:保存形式に応じて選択してください。
※ AVI 形式を選択すると、PC 用の一般的な動画ソフトで再生できる形式になります。
※ AVI 形式を選択しない場合は、機器の専用ソフト（NetClient）でのみ再生できる形式で保存されます。
時刻表記：必ず選択してください。
※ PC での閲覧時に時刻を表示させる場合には、ソフトウェア側の設定が必要となる場合もあります。使用されるソフトウェアをご確認ください。
また、時刻データはバックアップ時に格納されます。

開始時刻：バックアップデータの開始点の時刻を入力します。
終了時刻：バックアップデータの終了点の時刻を入力します。
○○分　：バックアップデータの 1 ファイルの大きさを設定します。

③バックアップ形式と時刻の入力が完了したら、「実行」を選択し、バックアップを開始します。

④バックアップが完了したら、メニュー画面を閉じて記録媒体を取り外してください。

4-6　ログ検索

機器の操作履歴を検索します。電源、録画の ON/OFF などの操作が行われた日時を選択します。

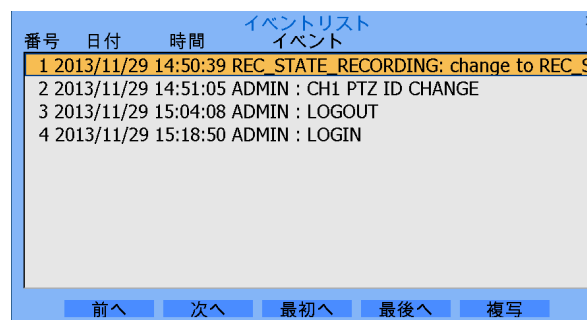
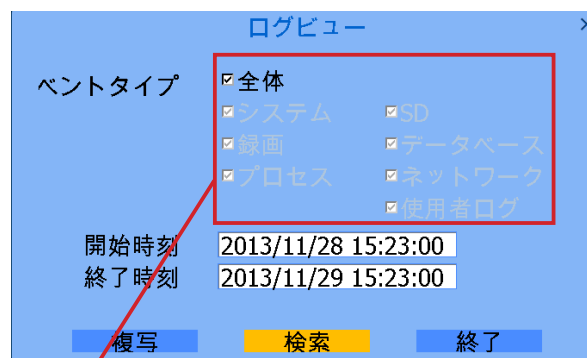
①ログを検索する範囲市を決めておきます。
例）2014/10/01　9：00：00～
　　2014/12/01　9：20：30 まで

②ログイン⇒メニュー画面を開き、「ログ表示」を
選択します。各入力項目を確認します。

全体：全ての操作についてログを表示します。
　　チェックを外すと、個別の項目を選択
　　できるようになります。

システム：設定変更の履歴です。
録画：録画の ON/OFF の履歴です。
プロセス：プログラム上の動作履歴です。
SD：記録媒体（SD、HDD）の履歴です。
データベース：録画データ処理上の履歴です。
ネットワーク：ネットワークアクセスの履歴です。
使用者ログ:ログイン中のユーザーの操作履歴です。

③開始時刻、終了時刻を入力します。
※期間が長い場合は警告表示がでますので、短期間
で行ってください。

④イベントリストが表示されますので、時刻や
イベント内容をご確認ください。

4-7　記録媒体の取り外し（SD カード

機器に接続されている録画媒体（SD カード、HDD）を接続 / 取外しをおこなう際には、機器への操作が必要となります。
※適切な操作を行わずに録画媒体を外すと、データの破損や媒体そのものの破損につながります。
録画媒体を外す際は必ず下記の操作を行ってください。
操作 1：電源を OFF にしてから媒体を外す。

①この操作にはモニターが必要です。モニターを用意
し、機器と接続した状態してから、操作を行います。

②リモコンの「電源ボタン」を押します。または、
ログインして設定画面に入り、「システム」の
「システム電源 OFF」を選択します。

③電源を OFF にできる状態になってから、記録媒体
を差替えてください。

操作２：リモコンと LED で確認する。

　　　　※操作案内は本体内部の扉裏側にも記載があります。

①この操作はモニターが無い状態で記録媒体を取出します。機器の基板側の LED の状態をみながら操作します。

②本体の蓋を開け、「SD カードスロット」の左側　にある LED を確認します。
　録画が実行され、正常稼働時は、
　緑＝点灯　赤＝点灯　黄＝消灯
　となっています。

③リモコンの「電源ボタン」を押します。
　次に、リモコンの「9」を押します。しばらく（約 10 秒）すると LED が、
　　緑＝点灯　赤＝消灯　黄＝点灯
　となります。この状態になるとシステムシャットダウンが完了し電源オフにできる状態となります。

④電源プラグを抜き、LED が完全に消灯することを確認してから、記録媒体を外します。

⑤記録媒体を接続し、再度電源を入力すると約 2 分後に LED は、
　緑＝点灯　赤＝点灯　黄＝消灯
　となり、外部 LED も点灯します。
　※録画停止時では、赤＝点灯の状態になり、外部 LED は消灯した状態になります。

※記録媒体の取り外しは、かならず電源を OFF にした状態でおこなってください。
　データの破損、記録媒体の破損の原因となります。ご注意ください。

5　各種設定

録画の画質の設定や時刻表記の修正などを行います。

基本設定画面内の各項目を選択して設定します。「ログイン」⇒「メニューボタン」⇒「基本設定」の順にアイコンを選択します。

5-1　画面設定

■ OSD 表示

〇カメラ名

各カメラに設置場所や機器品番などの名称をつけて表示できます。その表示のオン / オフを選択します。

〇 CH 番号

各カメラのチャンネル番号の表示をオン／オフ選択します。

〇言語

機器で使用する言語を設定します。
「JAPANESE」で使用してください。

〇 OSD 非表示

「P7　OSD 表示切換」選択時に非表示となる部分を設定します。

・全体：すべてのアイコン表示が非表示となります。
・アイコン：画面上部のアイコンのみ非表示となります。
・タイムバー：画面下部の時刻表示のみ非表示となります。

〇自動非表示

OSD 非表示機能を自動的に行います。
機能のオン / オフを選択します。

〇表示時間

OSD 自動非表示機能の切替わる時間を設定します。1 秒～ 99 秒の間で設定できます。

〇文字サイズ

表示文字のサイズを 22 ～ 28 の間で設定します。

5-2　カメラ

機器に接続されたカメラの表示名称や、PTZ 機能について設定します。

※ PTZ 機能のあるカメラは、は信号線が接続されている状態で運用します。

■基本設定

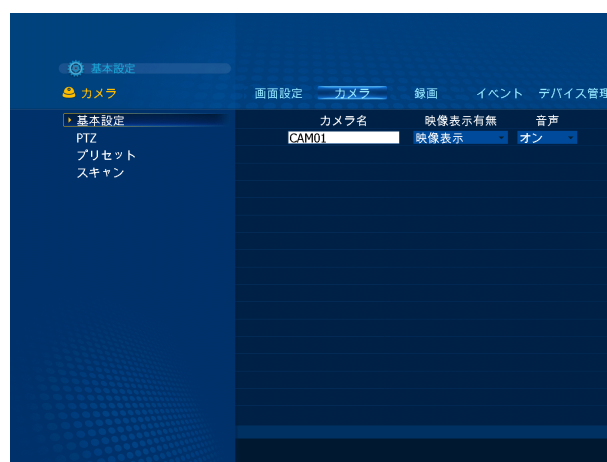
○カメラ名

表示カメラ名称を変更できます。大小英字、数字、記号から選択できます。

○映像表示有無

カメラ映像の表示の ON/OFF を設定します。

○音声

音声が接続されている場合に音声の機能をオンにします。

■基本設定

PTZ 機能のあるカメラを接続している場合、カメラとの通信について設定します。

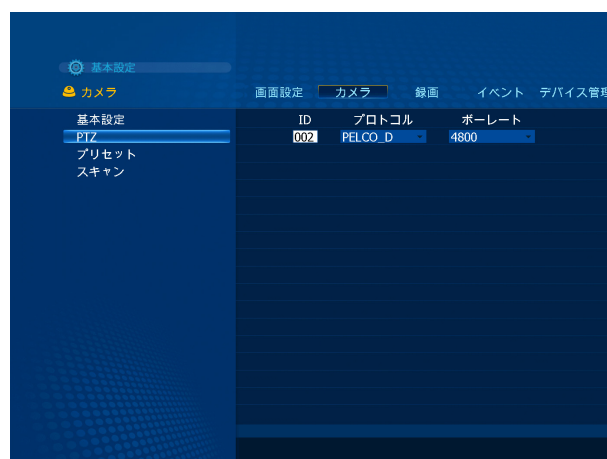
○ ID

カメラ固有の ID を登録します。

○プロトコル

通信信号の種類を選択します。

○ボーレート

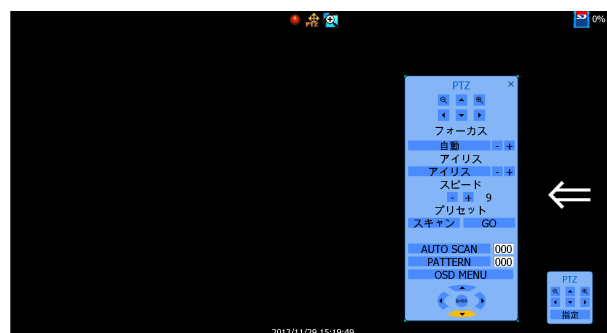
通信信号の数値を設定します。

■プリセット / スキャン

株式会社 NSK 製の PTZ カメラは、カメラ側にプリセット位置やスキャン範囲を覚えさせるため、基本的には録画装置側では設定しません。

画面上の PTZ アイコン（4-1　②ボタン）を選択するか、リモコンのボタンでコントローラーを表示させます。

このコントローラーで PTZ 操作やカメラ側のメニュー操作を行います。

※カメラ側の仕様によって、操作方法は異なります。

　接続前にカメラ側の確認をお願いします。

5-3　録画

録画時のフレーム数や画質と、スケジュールの設定を行います。その他録画に関する設定を行います。

※初期設定では、連続録画設定となっております。

■録画設定

カメラは 1 台対応です。

○解像度

設定しません。接続されたカメラの解像度を自動的に認識します。

○イベント録画速度

モーション録画、センサー録画などのイベント録画時には、こちら側の数値が反映されます。

画質：保存画像の質を設定します。

フレーム数：1 秒間に撮影するコマ数を設定します。

○連続録画速度

連続録画時にはこちら側の数値が反映されます。

※機器の特性上、イベント録画速度より高い数値に設定できません。イベント録画側と数値を合わせて設定してください。

■スケジュール

初期設定では連続録画に設定されています。

下部の録画機能にチェックを入れ、「全体適応」を選択し、カレンダーへ反映させます。

または、カレンダー内のマス目を選択し設定したいスケジュールに色を入れます。

○録画しない

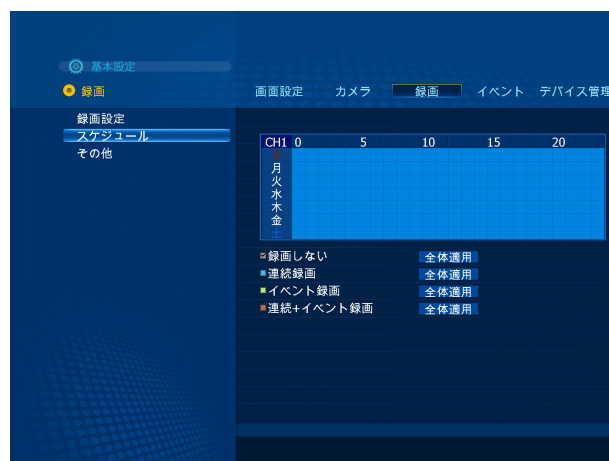
※街頭防犯機器の場合は選択しません。

リモコンで録画の ON/OFF を選択できます。

○連続録画

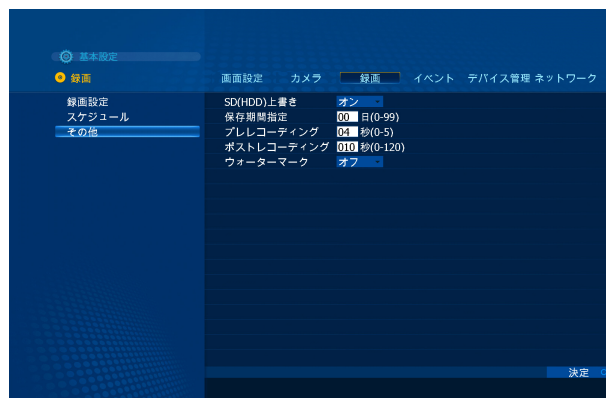
連続録画を推奨します。

○イベント録画

モーション（動体検知）またはアラーム入力など外部からの検知があった場合に録画を ON/OFF します。

○連続＋イベント録画
平時は連続録画の画質で稼働し、イベント発生時にはイベント録画の画質で録画できるよう、複合的な設定を選択します。

■その他

○ SD（HDD）上書き
記録媒体の上書き設定を有効にします。

○保存期間指定
録画期間を記録媒体の最大容量より短い間隔で上書きするように設定します。
例：SD カードで最大 8 日間録画可能な設定で
3 日間分だけで上書きとする場合
「保存期間指定＝ 03」と入力します。

○プレ / ポストレコーディング
イベント録画設定時に、イベント発生直前（プレ）と発生後の一定期間（ポスト）録画時間を設定します。

○ウォーターマーク
改ざん防止録画機能の「オン / オフ」を選択します。
初期設定値ではオフが選択されています。

5-4　イベント

モーション（動体検知）録画や、アラーム録画などについて設定します。街頭防犯システムでは、この機能を選択せず、連続録画設定での使用を推奨します。

■モーション

○動体検知について設定します。
検知の「感度 / 検知エリア / 録 CH」について設定を行うと、モーション録画が有効になります。
・感度「1（弱）～ 10（強）」
・エリア「8 × 8 マス」
・録画 CH は 1CH を選択してください。

○アラーム / ブザー
※屋外設置時は使用を避けてください。
それぞれ、アラーム信号とブザー音出力の「オン / オフ」設定を行います。
初期設定ではオフになっています。

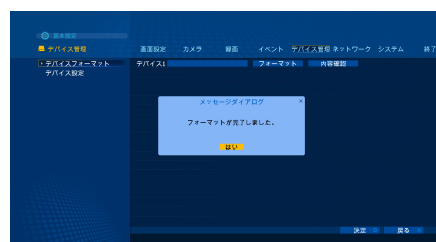
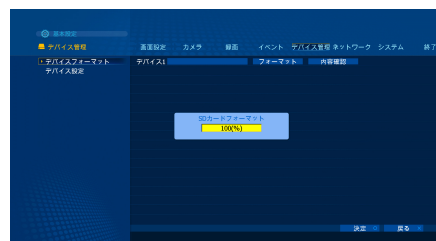
■ビデオロス
　ビデオロス時にアラーム出力 / ブザー音を出力します。初期値ではオフ設定となっています。
※街頭防犯では LED ランプによる外部確認が
　機能していますので基本的には使用しません。

■ E メール /FTP/E メールスケジュール
　FTP スケジュール
※街頭防犯システムではネットワーク端末やルータなどを必要に応じて別途ご用意いただく必要があります。その際に設定する項目となりますので、別途お問合せください。

■アラームスケジュール
　アラーム信号の出力スケジュールを設定します。
　外部機器などを接続する場合にのみ、信号出力の
　スケジュールを　入力してください。
※街頭防犯では LED ランプによる外部確認が
　機能していますので基本的には使用しません。

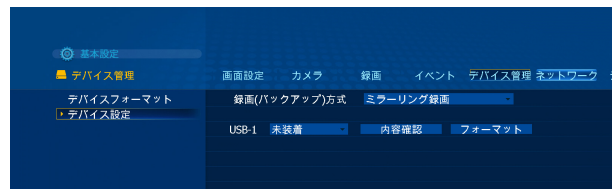
5-5　デバイス管理
接続されている記録媒体について設定、確認します。

■デバイスフォーマット
　接続されている記録媒体を初期化（フォーマット）
　します。

操作手順
①記録媒体（この場合は SD カード）が接続されて
　いることを確認します。
　　・デバイス 1
　　　接続されている記録媒体の名称、容量が
　　　表示されます。
　　・フォーマット
　　　フォーマットを実行します。カーソルを移動させて選択すると確認のウィンドウが表示されますので、「はい」を選択します。進行状況が表示され（右図）完了の表示となることを確認してください。

・内容確認
記録媒体内に保存されているデータの使用量や、各ファイルのデータサイズを確認できます。

■ HDD スマート
接続されている記録媒体(HDD)の状態を計測します。
※ HDD 接続時にのみ有効となります。
※アラームやブザーを停止させるためには、リモコンによる機器への直接操作が必要となります。
ご注意ください。

◯スマート機能では、HDD の現在の温度、検査時刻や周期の設定、アラーム、ブザーの出力が設定できます。

■デバイス設定
SD カード以外の記録媒体（HDD）への録画について設定します。

◯自動バックアップ
主な録画媒体（SD カード）に録画されるデータを自動的に HDD へも記録させます。
SD カードが上書きされても SD カード側にはより長い時間録画がされます。

◯外部デバイスバックアップ
◯リレー録画

5-6　ネットワーク
ネットワーク接続について設定します。
設定の概略については、ネットワーク設定用の説明書を参照してください。

※本機はネットワーク接続の機能を有しておりますが、機器単体として提供できる機能としては WiFi ルータを
　搭載した単距離無線通信によるデータ取得を目的としたものであります。
　遠隔地からのデータ取得や、複数の機器の一括集約管理などに使用する場合は、別途通信網の作成と
　通信用端末のご用意をお願いしております。

※上記の運用に必要な設定条件などについては、別途お問合せください。

5-7　システム
機器のシステムについて設定します。時刻設定、ユーザー設定、システム電源の ON/OFF について設定します。

■ CONFIG ファイル管理
機器の設定情報を外部へ保存し、別の機器に反映させます。

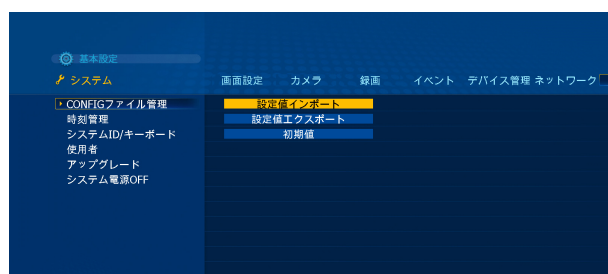
○設定値インポート
　USB フラッシュメモリーなどの記録媒体内部にある設定情報を読み込み、現在の機器設定を一括で変更します。

○設定値エクスポート
　USB フラッシュメモリーなどの記録媒体へ機器の設定情報を書き出し、別の機器へ反映させることができます。
　その際は上記の「インポート」を選択してください。

○初期値
　機器の設定を初期値に戻します。

■時刻管理
機器の時刻を調整、設定します。

○現在時刻
　今現在設定されている時刻が表示されます。

○日付表示 / 時刻表示タイプ
　年月日、時刻表示の書式を設定します。

◯タイムゾーン

時刻エリアを設定します。

「+9:00　Osaka,Sapporo,Tokyo」で使用してください。

◯時刻同期 / サーバー IP

ネットワーク経由で時刻を同期します。

※通常は使用しません。ネットワーク使用時、オプション使用時に設定します。

◯システム ID/ キーボード

通常は設定しません。

◯使用者

ユーザー権限について設定します。

DVR の操作時にユーザー権限を振り分けて、設定や再生などの操作権限を制御します。

また、ログアウト時の設定についても画面下部で設定できます。

・使用者

ID の設定です。通常は最上位「ADMIN」で使用します。

・使用者名

「ADMIN」「netuser」以下の ID については任意の名称を設定できます。

・パスワード

任意の数字に設定できます。

・設定権限

ユーザーの設定操作について権限を有効 / 無効に設定できます。

・DVR 操作権限

ユーザーの各種操作権限について、有効 / 無効に設定できます。

・ネットワーク

ユーザーの遠隔操作権限について、有効 / 無効に設定できます。

・画面表示制限
ユーザー権限でログインした場合のカメラ映像の表示を「オフ（非表示）/ オン（表示）」に設定します。

・自動ログアウト
初期設定では「オン（5 分)」になっています。
最後の操作から一定時間（指定可）後に自動的にログアウトします。
「オフ」に設定すると、手動でログアウトしない限りログインが維持されます。

・モニター
ログアウト時のカメラ映像表示を設定します。
「オン（非表示）/ オフ（表示)」に設定します。

○アップグレード
ファームウェアのバージョンを向上させます。
必要に応じて HP などで公開いたします。

○システム電源 OFF
機器の電源を正常に OFF にできます。
必ずこの項目を選択してから電源を切ってください。

5-7　終了
設定画面を終了して、ライブ映像の画面へ戻ります。